

こころとからだに、  
おいしいものを。



2022年9月15日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也  
(コード番号：2590 東証プライム市場)  
問 い 合 わ せ 先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長  
長谷川 直和  
電 話 番 号 06-7166-0077

**ダイドードリンコ株式会社とアサヒ飲料株式会社との  
自動販売機事業に関する包括的業務提携契約締結に関するお知らせ**  
- 共同株式移転による自動販売機事業運営会社の設立 -

ダイドグループホールディングス株式会社（以下「ダイドグループホールディングス」という。）の連結子会社であるダイドードリンコ株式会社（以下「ダイドードリンコ」という。）とアサヒ飲料株式会社（以下「アサヒ飲料」という。）は、両社の企業価値向上を目的として、自動販売機事業に関する包括的業務提携契約を下記のとおり締結しましたので、お知らせいたします。

※ 本案件は同日付で、アサヒ飲料株式会社も発表しています。同社のリリースを（参考資料）として添付しています。

記

1. 包括的業務提携の目的

ダイドグループのコアビジネスである国内飲料事業を担うダイドードリンコは、2030年のありたい姿を「自販機市場において絶え間ない挑戦と共創で新しい価値を提供し、トップランナーとして業界をリードし続けます。」と定め、最新のテクノロジーを活用したスマート・オペレーション※のさらなる進化に取り組むとともに、顧客志向営業の推進により全国に遍くある自動販売機のネットワークの強化・拡充を図り、DyDoの店舗である自動販売機を通じて、お客様の求める価値をお届けしております。

コロナ禍を契機として、自動販売機市場を取り巻く環境は大きく変化し、原材料価格の高騰や物流費の上昇が収益構造に大きな影響を与える状況の中、自動販売機に対する業界各社の取り組み姿勢は二極化しており、上位寡占化の傾向がより強いものとなっております。

このような状況の中、ダイドードリンコとアサヒ飲料は、自動販売機事業の成長・発展を図るべく、両社の企業価値向上を目的として、自動販売機事業に関する包括的業務提携契約を締結するに至りました。

このたびの包括的業務提携を契機として、ダイドードリンコは、協業によるスケールメリットを活かしつつ、スマート・オペレーションのノウハウをもって効率的かつ高品質なオペレーションを追求し、自動販売機市場における確固たる優位性を確立してまいります。

※これまでのオペレーションを抜本的に見直し、生産性の高い当社独自の仕組みをさす

## 2. 包括的業務提携の内容

### (1) 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求

2023年1月に、ダイドードリンコとアサヒ飲料は自動販売機事業を運営するダイナミックベンディングネットワーク株式会社（以下「新会社」という。）を設立します。新会社は共同株式移転により設立し（以下「本共同株式移転」という。）、ダイドードリンコの100%出資子会社であるダイドーブイバレッジサービス㈱（以下「ダイドーブイバレッジサービス」という。）、㈱ダイドーブイバレッジ静岡（以下「ダイドーブイバレッジ静岡」という。）、ダイドーブイバレッジジャパン㈱（以下「ダイドーブイバレッジジャパン」といい、ダイドーブイバレッジサービス、ダイドーブイバレッジ静岡、ダイドーブイバレッジジャパンの3社を総称して「ダイドードリンコ対象子会社3社」という。）と、アサヒ飲料の100%出資子会社であるアサヒ飲料販売㈱（以下「アサヒ飲料販売」という。）、九州アサヒ飲料販売㈱（以下「九州アサヒ飲料販売」という。）、㈱ミチノク（以下「ミチノク」といい、アサヒ飲料販売、九州アサヒ飲料販売、ミチノクの3社を総称して「アサヒ飲料対象子会社3社」という。）を傘下に置きます。新会社は、当社の連結子会社として傘下6社の直販事業を一体的に運営し、ダイドードリンコがノウハウを有するIoT技術を活用したスマート・オペレーションを展開していくことで、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性の向上だけでなく、労働負荷の低減により将来的な人手不足、人材確保という課題の解決も図ってまいります。

#### 【本共同株式移転により設立する新会社の概要】

① 名 称	ダイナミックベンディングネットワーク株式会社
② 所 在 地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笠井 勝司 (現：ダイドードリンコ株式会社 取締役 執行役員 経営戦略部長)
④ 事 業 内 容	自動販売機のオペレーション業務の委託・受託
⑤ 資 本 金	50百万円
⑥ 設 立 年 月 日	2023年1月23日
⑦ 決 算 期	1月20日
⑧ 出 資 比 率	ダイドードリンコ 66.6%、アサヒ飲料 33.4%

### (2) 商品の相互販売によるお客様接点の拡大

両社は2018年以降、主力ブランドの相互販売を実施しています。2018年3月から『三ツ矢サイダー』『カルピスウォーター』をダイドードリンコの自動販売機で販売し、2019年3月から『ダイドーブイバレッジ微糖 世界一のバリスタ監修※』をアサヒ飲料の自動販売機で販売しています。

今回新たに、2023年3月以降順次、ダイドードリンコの自動販売機で『ウィルキンソンタンサン レモン』『モンスターエナジー』の2品を販売し、アサヒ飲料の自動販売機で『ダイドーブイバレッジ デミタス微糖』を販売します。商品の相互販売により両社の主力ブランドのお客様との接点を拡大し、さらなる飲用機会の拡大と自動販売機の魅力度向上を図ってまいります。

※ワールドバリスタチャンピオンシップ第14代チャンピオン ピート・リカータ氏の監修

### (3) 製造委託による原価低減

2023年以降を目処に、ダイドードリンコブランドの商品の一部をアサヒ飲料の工場へ製造委託を行い、両社で製造原価の低減を図るべく、協議を進めてまいります。

### (4) 効率的な資源回収による環境負荷の低減

環境負荷低減に向けて、効率的な資源の回収に取り組み、PETボトルの水平リサイクル率向上など、社会的課題の解決を図ります。

## 3. 連結子会社の概要

(1) 名 称	ダイドードリンコ株式会社
(2) 所 在 地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中島 孝徳
(4) 事 業 内 容	清涼飲料等の販売
(5) 資 本 金	350 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2016年2月
(7) 大株主及び持株比率	ダイドールグループホールディングス(株) 100%

## 4. 包括的業務提携を締結する相手先の概要

(1) 名 称	アサヒ飲料株式会社			
(2) 所 在 地	東京都墨田区吾妻橋一丁目23番1号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 米女 太一			
(4) 事 業 内 容	各種飲料水の製造、販売			
(5) 資 本 金	11,081 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1982年3月			
(7) 大株主及び持株比率	アサヒグループジャパン(株) 100%			
(8) 当 社 と 当 該 会社との間の関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。			
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
純 資 産		97,102	82,091	109,817
総 資 産		243,707	229,778	265,346
売 上 高		482,972	464,361	470,353
営 業 利 益		24,235	20,213	24,359
経 常 利 益		25,507	20,784	26,242
当 期 純 利 益		17,710	16,810	44,005

## 5. 新会社の傘下となる6社の概要

### (1) ダイドービバレッジサービス株式会社

① 名 称	ダイドービバレッジサービス株式会社			
② 所 在 地	大阪市北区中之島二丁目2番7号			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大堀 健一			
④ 事 業 内 容	清涼飲料等の販売業務受託			
⑤ 資 本 金	50 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2003 年 6 月			
⑦ 大株主及び持株比率	ダイードリンコ 100%			
⑧ 当 社 と 当 該 会社との間の関係	資 本 関 係	当社が当該会社の株式の 100 %を保有しております。		
	人 的 関 係	当社の取締役1名、執行役員1名が当該会社の取締役を兼任しております。		
	取 引 関 係	当社は、当該会社との間で貸付金等の取引、当該会社の経営管理等を行っております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2020年1月期	2021年1月期	2022年1月期
純 資 産		404	720	1,419
総 資 産		2,414	2,778	3,720
1株当たり純資産(円)		404,102.79	720,550.13	1,419,969.24
売 上 高		13,414	12,618	13,059
営 業 利 益		690	537	859
経 常 利 益		696	547	856
当 期 純 利 益		802	316	699
1株当たり当期純利益(円)		802,944.93	316,447.33	699,419.11
1株当たり配当金(円)		-	-	-

## (2) 株式会社ダイドービバレッジ静岡

① 名 称	株式会社ダイドービバレッジ静岡			
② 所 在 地	静岡県袋井市徳光 1-1			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長澤 徹			
④ 事 業 内 容	清涼飲料等の販売			
⑤ 資 本 金	50 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2002 年 8 月			
⑦ 大株主及び持株比率	ダイードリンコ 100%			
⑧ 当社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が当該会社の株式の 100 %を保有しております。		
	人 的 関 係	当社の取締役 1 名、執行役員 1 名が当該会社の取締役を兼任しております。		
	取 引 関 係	当社は、当該会社の経営管理等を行っております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019 年 11 月期	2020 年 11 月期	2021 年 11 月期
純 資 産		3,000	2,041	2,037
総 資 産		3,698	2,751	2,692
1 株当たり純資産 (円)		3,000,118.20	2,041,637.28	2,037,326.57
売 上 高		4,223	3,860	3,783
営 業 利 益		47	44	23
経 常 利 益		85	65	55
当 期 純 利 益		55	41	35
1 株当たり当期純利益 (円)		55,390.82	41,519.07	35,689.28
1 株当たり配当金 (円)		1,000,000	40,000	6,800

## (3) ダイドーベンディングジャパン株式会社

① 名 称	ダイドーベンディングジャパン株式会社			
② 所 在 地	鳥取県米子市両三柳 2887-2			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野口 光春			
④ 事 業 内 容	清涼飲料等の販売			
⑤ 資 本 金	70 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2016 年 3 月			
⑦ 大株主及び持株比率	ダイードリンコ 100%			
⑧ 当社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が当該会社の株式の 100 %を保有しております。		
	人 的 関 係	当社の執行役員 1 名が当該会社の取締役を兼任しております。		
	取 引 関 係	当社は、当該会社の経営管理等を行っております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019 年 10 月期	2020 年 10 月期	2021 年 10 月期
純 資 産		121	118	83
総 資 産		320	398	410
1 株当たり純資産 (円)		86,790.38	84,308.69	59,413.31
売 上 高		1,027	1,186	1,467
営 業 利 益 (△ 損 失)		△5	△25	△53
経 常 利 益 (△ 損 失)		9	△3	△17
当 期 純 利 益 (△ 損 失)		6	△3	△34
1 株当たり当期純利益 (△損失) (円)		4,489.35	△2,481.68	△24,895.38
1 株当たり配当金 (円)		-	-	-

## (4) アサヒ飲料販売株式会社

① 名 称	アサヒ飲料販売株式会社			
② 所 在 地	東京都台東区上野 7-12-14			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 遠藤 玄一郎			
④ 事 業 内 容	自動販売機による清涼飲料水の販売			
⑤ 資 本 金	100 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2007 年 12 月			
⑦ 大株主及び持株比率	アサヒ飲料 100%			
⑧ 当社と当該会社との間の関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。			
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期
純 資 産		1,990	1,283	1,489
総 資 産		7,129	6,092	6,468
1 株当たり純資産 (円)		100,530 円	64,810 円	75,233 円
売 上 高		37,902	32,881	32,893
営 業 利 益		735	△ 506	344
経 常 利 益		737	△ 562	338
当 期 純 利 益		415	△ 707	206
1 株当たり当期純利益 (△損失) (円)		20,998 円	△ 35,719 円	10,423 円
1 株当たり配当金 (円)		-	-	-

## (5) 九州アサヒ飲料販売株式会社

① 名 称	九州アサヒ飲料販売株式会社			
② 所 在 地	福岡県糟屋郡志免町別府 3-14-1			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笹木 等			
④ 事 業 内 容	自動販売機による清涼飲料水の販売			
⑤ 資 本 金	40 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	2009 年 10 月			
⑦ 大株主及び持株比率	アサヒ飲料 100%			
⑧ 当社と当該会社との間の関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。			
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期
純 資 産		460	510	266
総 資 産		959	904	770
1 株当たり純資産 (円)		287,715 円	318,873 円	166,045 円
売 上 高		3,212	2,936	2,875
営 業 利 益		203	114	84
経 常 利 益		205	115	91
当 期 純 利 益		109	50	56
1 株当たり当期純利益 (円)		68,217 円	31,158 円	34,671 円
1 株当たり配当金 (円)		-	34,670 円	-



## (6) 株式会社ミチノク

① 名 称	株式会社ミチノク			
② 所 在 地	岩手県奥州市水沢区水沢工業団地 3-84			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上野 昭則			
④ 事 業 内 容	自動販売機による清涼飲料水の販売、自動販売機の移設・メンテナンス、及びオーバーホール			
⑤ 資 本 金	30 百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	1979 年 4 月			
⑦ 大株主及び持株比率	アサヒ飲料 100%			
⑧ 当社と当該会社との間の関係	当社と当該会社の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。			
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	単位：百万円			
	決算期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期
純 資 産		557	627	292
総 資 産		1,098	1,130	891
1 株当たり純資産 (円)		185,550 円	208,885 円	97,348 円
売 上 高		3,522	3,238	3,220
営 業 利 益		149	109	109
経 常 利 益		152	111	111
当 期 純 利 益		112	70	65
1 株当たり当期純利益 (円)		37,444 円	23,335 円	21,795 円
1 株当たり配当金 (円)		-	21,790 円	-

## 6. 本共同株式移転の要旨

### (1) 本共同株式移転の日程

包括的業務提携契約の締結日	2022年9月15日
株式移転計画承認取締役会（対象子会社各社）	未定
株式移転計画承認臨時株主総会（対象子会社各社）	未定
実施予定日（効力発生日）	2023年1月23日（予定）

### (2) 本共同株式移転の方式

ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料対象子会社3社を株式移転完全子会社、新たに設立する新会社を株式移転設立完全親会社とする共同株式移転となります。

### (3) 本共同株式移転に係る割当ての内容（株式移転比率）

#### ダイドードリンコ対象子会社3社

	ダイドーブイバレッジサービス	ダイドーブイバレッジ静岡	ダイドーブイベンディングジャパン
株式移転比率	40.273	5.742	1.3836

#### アサヒ飲料対象子会社3社

	アサヒ飲料販売	九州アサヒ飲料販売	ミチノク
株式移転比率	1	1.5113	0.61

（注1）本共同株式移転により発行する新会社の新株式数（予定）：普通株式：72,000株

（注2）ダイドーブイバレッジサービスの株式1株に対して、40.273株、ダイドーブイバレッジ静岡の株式1株に対して5.742株、ダイドーブイベンディングジャパンの株式1株に対して1.3836株、アサヒ飲料販売の株式1株に対して1株、九州アサヒ飲料販売の株式1株に対して1.5113株、ミチノクの株式1株に対して0.61株、それぞれ新会社の株式を割当て交付する。

### (4) 本共同株式移転に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ダイドーブイバレッジサービス、ダイドーブイバレッジ静岡、ダイドーブイベンディングジャパン、アサヒ飲料販売、九州アサヒ飲料販売及びミチノクは新株予約権及び新株予約権付社債を発行していません。

### (5) 剰余金の配当

本共同株式移転効力発生日前の日を配当基準日として、ダイドーブイバレッジサービス及びダイドーブイバレッジ静岡からダイドードリンコに総額18億円の配当を行う予定です。

## 7. 本共同株式移転に係る割当ての内容の根拠等

### (1) 算定機関との関係

ダイドードリンコは、ダイドードリンコ、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料、アサヒ飲料対象子会社3社から独立した第三者算定機関であるSMBC日興証券株式会社（以下、「SMBC日興証券」といいます。）を選定し、2022年9月14日付で、株式移転比率に関する算定書を取得しました。なお、SMBC日興証券は、ダイドードリンコ、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料、アサヒ飲料対象子会社3社の関連当事者には該当せず、ダイドードリンコ、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料、アサヒ飲料対象子会社3社との間で重要な利害関係を有しません。

### (2) 算定の概要

SMBC日興証券は、ダイドービバレッジサービス、ダイドービバレッジ静岡、ダイドーベンディングジャパン、アサヒ飲料販売、九州アサヒ飲料販売、ミチノクの6社について類似会社比較法及びディスカウンテッド・キャッシュ・フロー法（DCF法）を用いて株式移転比率を算定いたしました。各手法における算定結果は以下の通りです。なお、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料対象子会社3社の各社株式1株に対して割り当てるダイナミックベンディングネットワーク株式数のレンジを記載しております。

#### ダイドードリンコ対象子会社3社

	ダイドービバレッジサービス	ダイドービバレッジ静岡	ダイドーベンディングジャパン
類似会社比較法	22.0～28.0	5.0～6.2	1.6～1.9
DCF法	30.3～47.1	3.9～6.0	1.3～1.8

#### アサヒ飲料対象子会社3社

	アサヒ飲料販売	九州アサヒ飲料販売	ミチノク
類似会社比較法	1	1.5～1.8	0.5～0.7
DCF法	1	1.2～1.8	0.5～0.7

なお、SMBC日興証券がDCF法の算定の前提とした財務予測には、大幅な増減益を見込んでいる事業年度はありません。また、当該財務予測は、本共同株式移転の実施を前提として作成されています。

（注）SMBC日興証券は、株式移転比率算定書の作成にあたり、その基礎とされている資料及び情報は全て正確かつ完全なものであることを前提とし、その正確性及び完全性に関して独自の検証は行っておらず、その義務及び責任を負うものではなく、提供された情報が不正確又は誤解を招くようなものであるとする事実又は状況等につきダイドードリンコ、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料、アサヒ飲料対象子会社3社において一切認識されていないことを前提としております。また、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料対象子会社3社並びにそれらの関係会社の資産又は負債に関して、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関に対する評価、鑑定又は査定の依頼も行なっておりません。これらの資料及び情報の正確性及び完全性に問題が認められた場合には、算定結果は大きく異なる可能性があります。

さらに、ダイドードリンコ対象子会社3社及びアサヒ飲料対象子会社3社並びにその関係会社に関する未開示の訴訟、紛争、環境、税務等に関する債権債務その他の偶発債務・簿外債務並びに株式移転比率算定書に重大な影響を与えるその他の事実については存在しないことを前提としております。SMB C日興証券が、株式移転比率算定書で使用している事業計画等は、算定基準日における最善の予測及び判断に基づき、ダイドードリンコ及びアサヒ飲料により合理的かつ適正な手続きに従って作成されたことを前提としております。また、株式移転比率算定書において、SMB C日興証券が提供された資料及び情報に基づき提供された仮定を前提として分析を行っている場合には、提供された資料、情報及び仮定が正確かつ合理的であることを前提としております。SMB C日興証券は、これらの前提に関し、正確性、妥当性及び実現性について独自の検証は行っており、その義務及び責任を負うものではありません。

なお、SMB C日興証券の算定結果は、SMB C日興証券がダイドードリンコの依頼により、ダイドードリンコの取締役会が株式移転比率を決定するための参考に資することを唯一の目的としてダイドードリンコに提出したものであり、当該算定結果は、SMB C日興証券が本共同株式移転比率の公正性について意見を表明するものではありません。

## 8. 本共同株式移転に伴う会計処理の概要

本共同株式移転に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、当社の連結子会社であるダイドードリンコを取得企業とするパーチェス法を適用することが見込まれております。パーチェス法の適用に伴い、当社の連結決算においてのれん（または負ののれん）が発生する見込みですが、現時点では金額を見積もることができないため、金額につきましては確定次第お知らせいたします。

## 9. 今後の見通し

本件により、売上面・利益面ともにシナジー効果が期待できるものと考えておりますが、その具体的な数値に関しては精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

## ダイードリンコ株式会社と自動販売機事業に関する 包括的業務提携契約を締結

「直販事業の一体的運営」「相互販売」「製造受託」「環境領域の協業」でシナジー創出を図る

アサヒ飲料株式会社(本社 東京、社長 米女太一)は、ダイードリンコ株式会社(本社 大阪、社長 中島孝徳)と自動販売機事業に関する包括的業務提携契約を9月15日に締結しました。

包括的業務提携の内容は「直販事業の一体的運営」「相互販売」「製造受託」「環境領域の協業」の4つです。

2023年1月に、自動販売機事業を運営するダイナミックベンディングネットワーク株式会社(以下、新会社)を設立します。新会社は、共同株式移転により設立し、ダイードリンコの100%出資子会社であるダイドービバレッジサービス株式会社、株式会社ダイドービバレッジ静岡、ダイドーベンディングジャパン株式会社の3社と、アサヒ飲料の100%出資子会社であるアサヒ飲料販売株式会社、九州アサヒ飲料販売株式会社、株式会社ミチノクの3社を統括します。

### 1. 直販事業の一体的運営

共同株式移転により設立する新会社は直販事業の一体的運営を目指します。ダイードリンコがノウハウを有するIoT技術を活用したオペレーションシステムを展開していくことで、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性の向上だけでなく、労働負荷の低減により将来的な人手不足、人材確保という課題の解決も図ります。

### 2. 相互販売

両社は2018年以降、主力ブランドの相互販売を実施しています。2018年3月から『三ツ矢サイダー』『カルピスウォーター』をダイードリンコの自動販売機で販売し、2019年3月から『ダイドーブレンド微糖世界一のバリスタ監修』をアサヒ飲料の自動販売機で販売しています。

2023年3月以降、ダイードリンコの自動販売機で『ウィルキンソントンサン レモン』『モンスターエナジー』の2品を販売し、アサヒ飲料の自動販売機で『ダイドーブレンド デミタス微糖』を販売します。

商品の相互販売により両社の主力ブランドのお客さまとの接点を拡大し、さらなる飲用機会の拡大と自動販売機の魅力度向上を図ります。

### 3. 製造受託

2023年以降をめぐり、ダイードリンコの商品の一部についてアサヒ飲料の工場での製造受託を行う予定です。今後、両社で製造原価の低減を図るべく協議してまいります。

### 4. 環境領域の協業

環境負荷低減に向けて、自動販売機経由で効率的な資源の回収に取り組み、PETボトルの水平リサイクル率向上など社会的課題の解決を図ります。

**【新会社の概要】**

名称	ダイナミックベンディングネットワーク株式会社
所在地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笠井 勝司
事業内容	自動販売機のオペレーション業務の委託・受託
資本金	50百万円
設立年月日	2023年1月23日
決算期	毎年1月20日
出資比率	ダイドードリンコ 66.6%、アサヒ飲料 33.4%

**(ご参考)新会社の傘下となる6社の概要**

名称	ダイドービバレッジサービス株式会社
所在地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大堀 健一

名称	株式会社ダイドービバレッジ静岡
所在地	静岡県袋井市徳光1-1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長澤 徹

名称	ダイドーベンディングジャパン株式会社
所在地	鳥取県米子市両三柳 2887-2
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野口 光春

名称	アサヒ飲料販売株式会社
所在地	東京都台東区上野 7-12-14
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 遠藤 玄一郎

名称	九州アサヒ飲料販売株式会社
所在地	福岡県糟屋郡志免町別府 3-14-1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笹木 等

名称	株式会社ミチノク
所在地	岩手県奥州市水沢区水沢工業団地 3-84
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上野 昭則

**〈本件に関するお問い合わせ先〉**

アサヒグループホールディングス株式会社 広報部門 電話:03-5608-5126

**〈お客様からのお問い合わせ先〉**

アサヒ飲料株式会社 お客様相談室 電話:0120-328-124



**(参考資料)**  
**自動販売機事業に関する包括的業務提携契約締結について**

---

**ダイードリンク株式会社**  
**アサヒ飲料株式会社**

**2022年9月15日**

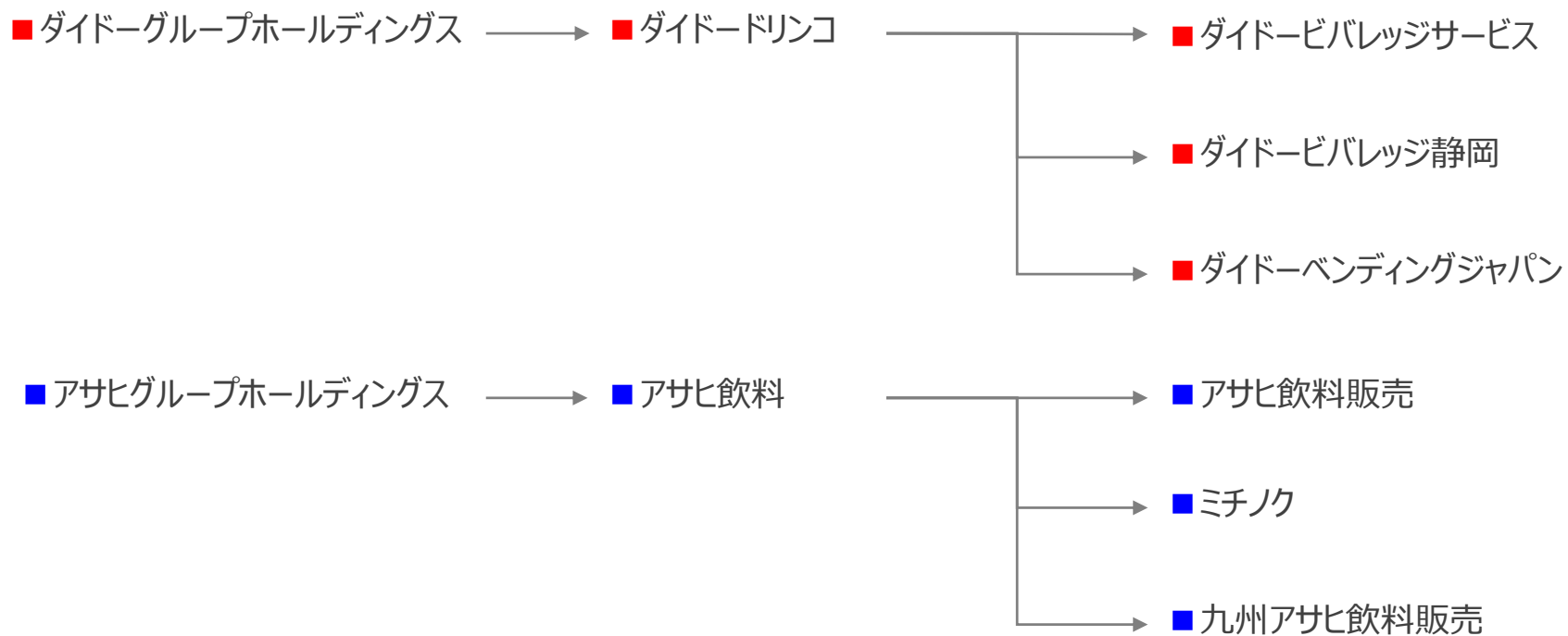
自動販売機事業の成長・発展を図るべく、両社の企業価値向上を目的として、自動販売機事業に関する包括的業務提携契約を締結

- 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求
- 商品の相互販売によるお客様接点の拡大
- 製造受委託による原価低減
- 効率的な資源回収による環境負荷の低減



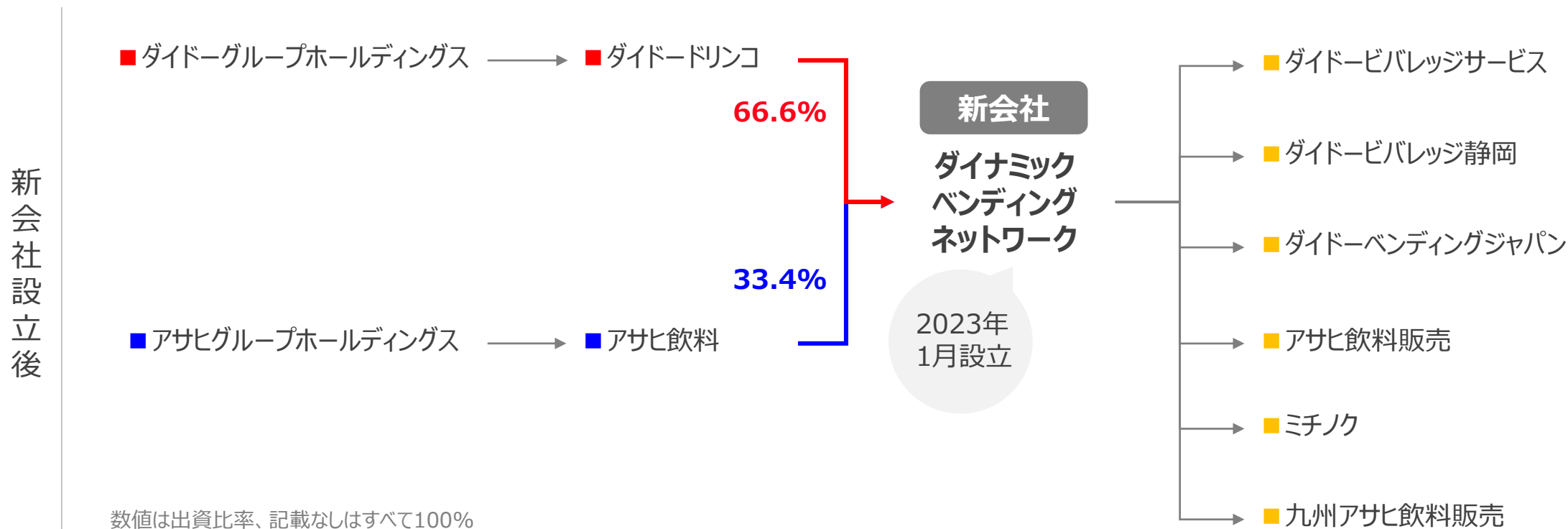
## 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求

現在



## 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求

- 新会社設立により、直販事業の一体的運営を推進する
- ダイドーのスマート・オペレーションを展開し、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性を向上する
- 将来的な人手不足、雇用確保という課題を解決する



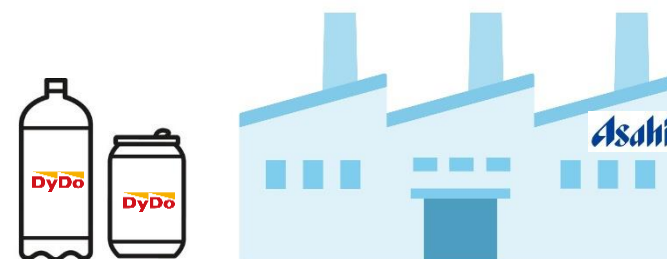
## 商品の相互販売によるお客様接点の拡大

- 相互販売商品を追加（2023年3月～）



## 製造受委託による原価低減

- ダイドードリンコブランド商品の一部をアサヒ飲料で製造受託（2023年以降をメド）



## 効率的な資源回収による環境負荷の低減

- 効率的な資源の回収、PETボトルの水平リサイクル率向上などへの取り組み、社会的課題を解決する



グループ理念のもと、「お客様の求めるものをお客様に身近なところでお届けする」ビジネスモデルを磨きつづける

## DyDoグループ理念

## DyDoグループスローガン

人と、社会と、共に喜び、共に栄える。  
その実現のためにDyDoグループは、  
ダイナミックにチャレンジを続ける。

こころとからだに、  
おいしいものを。



## グループミッション2030

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを創出するDyDoグループへ

## 自販機オペレーションのさらなる進化により、自販機市場における確固たる優位性を確立する

### 2030年にありたい姿

自販機市場において絶え間ない挑戦と共創で新しい価値を提供し、トップランナーとして業界をリードし続けます。

### 中期経営計画2026<sup>※1</sup>の取り組み

顧客志向営業の推進による  
自販機網の強化・拡充



最新のテクノロジーを活用した  
スマート・オペレーション<sup>※2</sup>の進化



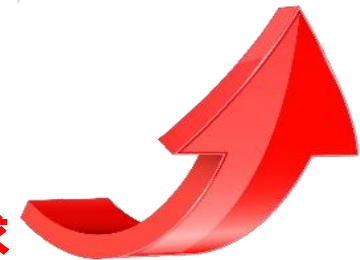
DyDoの店舗である自販機を通じて、  
お客様の求める価値をお届けする



効率的かつ高品質な  
オペレーションのさらなる追求



協業によるスケールメリット



提供価値の拡大

※1 2023年1月期~2027年1月期

※2 これまでのオペレーションを抜本的に見直し、生産性の高い新たな業務フローとなる、当社の造語。ダイドードリンコの直販営業所において2022年5月に展開完了

【アサヒ飲料ビジョン】

社会の新たな価値を創造し、  
我々の「つなげる」力で発展させ、  
いちばん信頼される企業となる

【社会との約束】

100年のワクワクと笑顔を。

【経営方針】

- ・ブランドを磨き、ブランドで挑む
- ・新しい価値を生み続ける
- ・しなやかで強い経営基盤を確立する

## 清涼飲料業界の自動販売機市場の21年実績

台数：220万台（20年比：98%、19年比95%）

販売数量：43,200万箱（20年比：100%、19年比：85%）

出典：飲料総研



## 包括的業務提携契約締結の狙い

- 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求
- 相互販売による自動販売機商品の魅力向上と売上の拡大
- 製造受託による原価低減
- 効率的な資源の回収によるPETボトルの水平リサイクル率の向上

売上・利益面といった財務面でのシナジー創出

環境領域での協業により社会的課題を解決

両社で自動販売機市場の明るい未来を共創し  
自動販売機ビジネスの成長・発展に大きく貢献することを目指す